



## 本格的な人口減少社会に突入

- ・地方と大都市圏の経済格差による「人口の一極集中の是正」
- ・地方は人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させるという「負のスパイラル」

まち・ひと・しごと創生法の制定 H26.11

まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略策定 H26.12

- \* 東京一極集中を是正
- \* 若い世代の就労・結婚・子育てを実現
- \* 地域の特性に即して地域課題を解決する



・2060年に1億人程度の人口を確保

### 基本目標

- ①地方における安定した雇用を創出する。
- ②地方への新しい人の流れをつくる。
- ③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。
- ④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

# 国の地方への支援



地方

地方版人口ビジョン:人口動向や将来人口推計の分析・将来展望

地方版総合戦略:2015年～2019年度(5カ年)の政策目標・施策

## 情報支援

### 「地域経済分析システム」

ビックデータ等を活用し、各地域に即した地域課題を抽出し対処できる効果的な政策立案

## 財政支援

平成26～27年度

### 「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」

- ・経済対策(地域消費喚起・生活支援型)
- ・地方創生先行型

## 人的支援

### 「地方創生人材支援制度」

国家公務員を小規模市町村に派遣

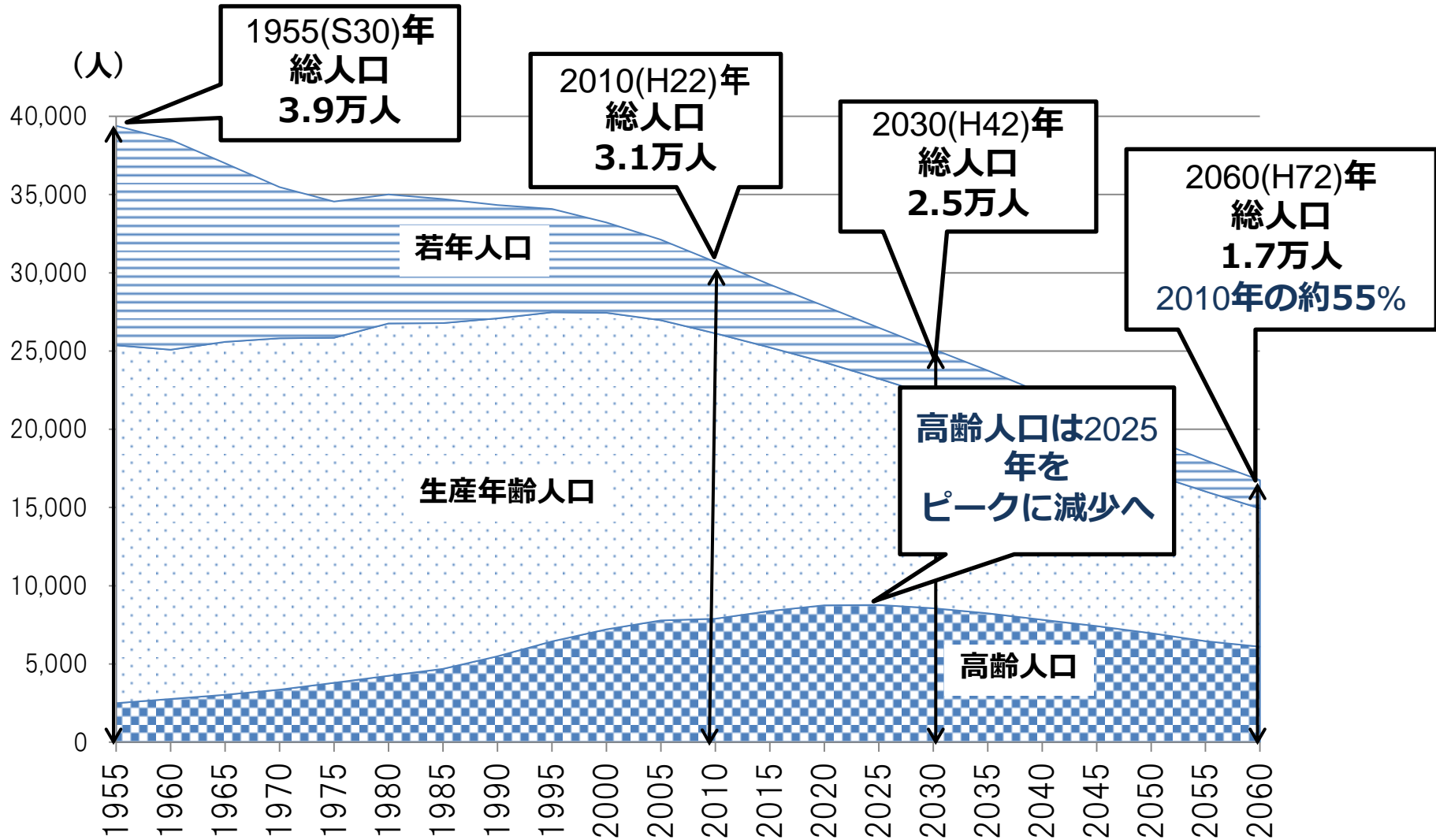
### 「地方創生コンシェルジュ制度」

地域に愛着・関心のある府省庁の職員を相談窓口として設置

平成28年度～

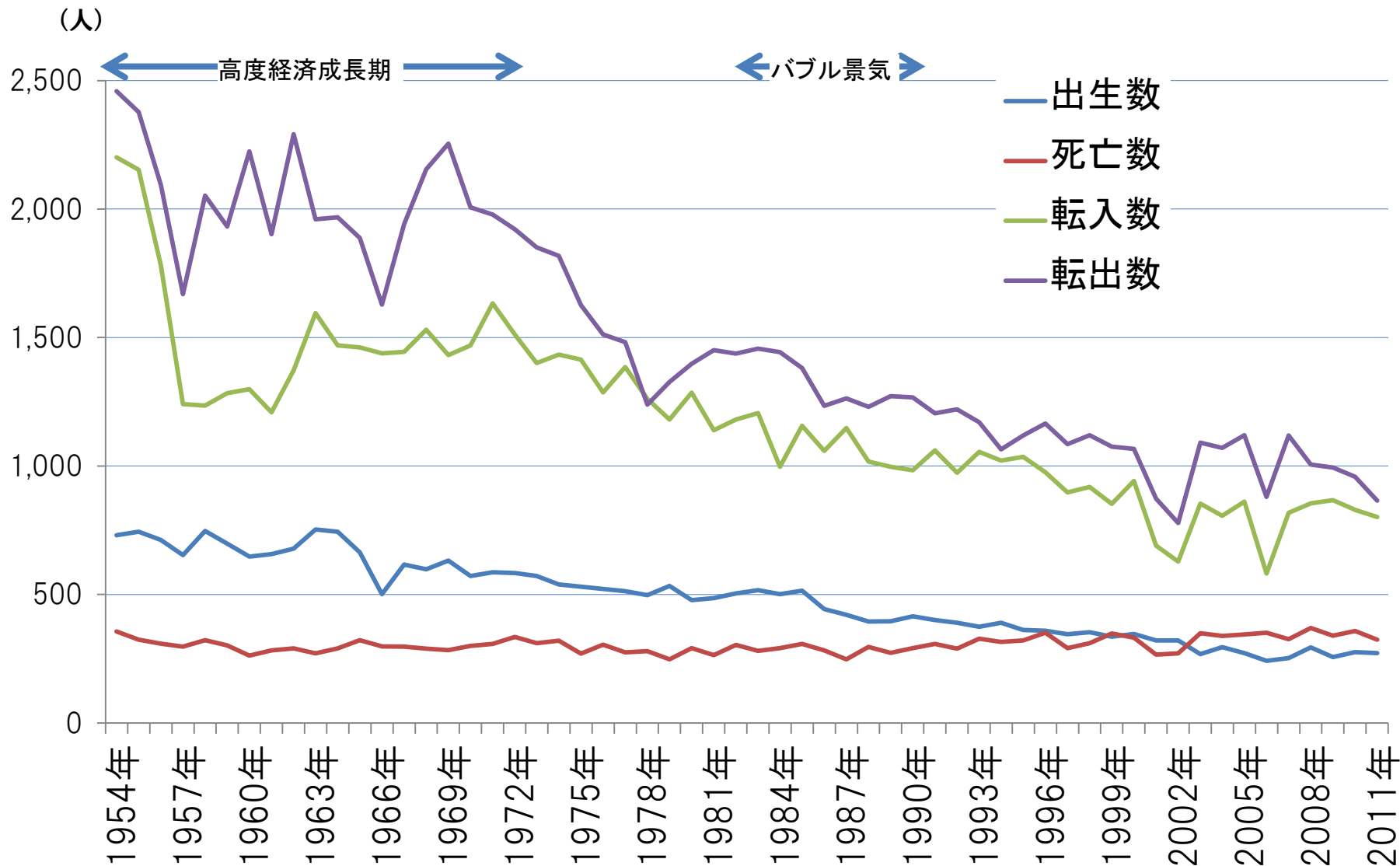
「新型交付金の創設」:地方版総合戦略に基づく事業・施策

# 鹿島市総人口、年齢3区分別人口の推移と将来推計



(出典) 「国勢調査(1955(昭和30年)～2010(平成22年))」(鹿島市HP統計情報「国勢調査」)  
 「日本の地域別将来推計人口(2013年(平成25年)3月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)  
 内閣府地方創生本部提供資料

# 鹿島市 出生・死亡、転入・転出数の推移



(出典) 「人口動態統計」(鹿島市)を基に作成

# 鹿島市の人口減少段階



	2010年	2040年	2010年を100 とした場合の 2040年の指 数	人口減少段階
老齢人口	7,899人	7,825人	99	2
生産年齢人口	18,259人	11,861人	65	
年少人口	4,562人	2,631人	58	

※ 人口減少段階

第1段階・・・老齢人口増加＋生産年齢人口・年少人口減少

第2段階・・・老齢人口維持・微減＋生産年齢人口・年少人口減少

第3段階・・・老齢人口減少＋生産年齢人口・年少人口減少

# 人口減少段階別・人口規模別の市町村数の状況

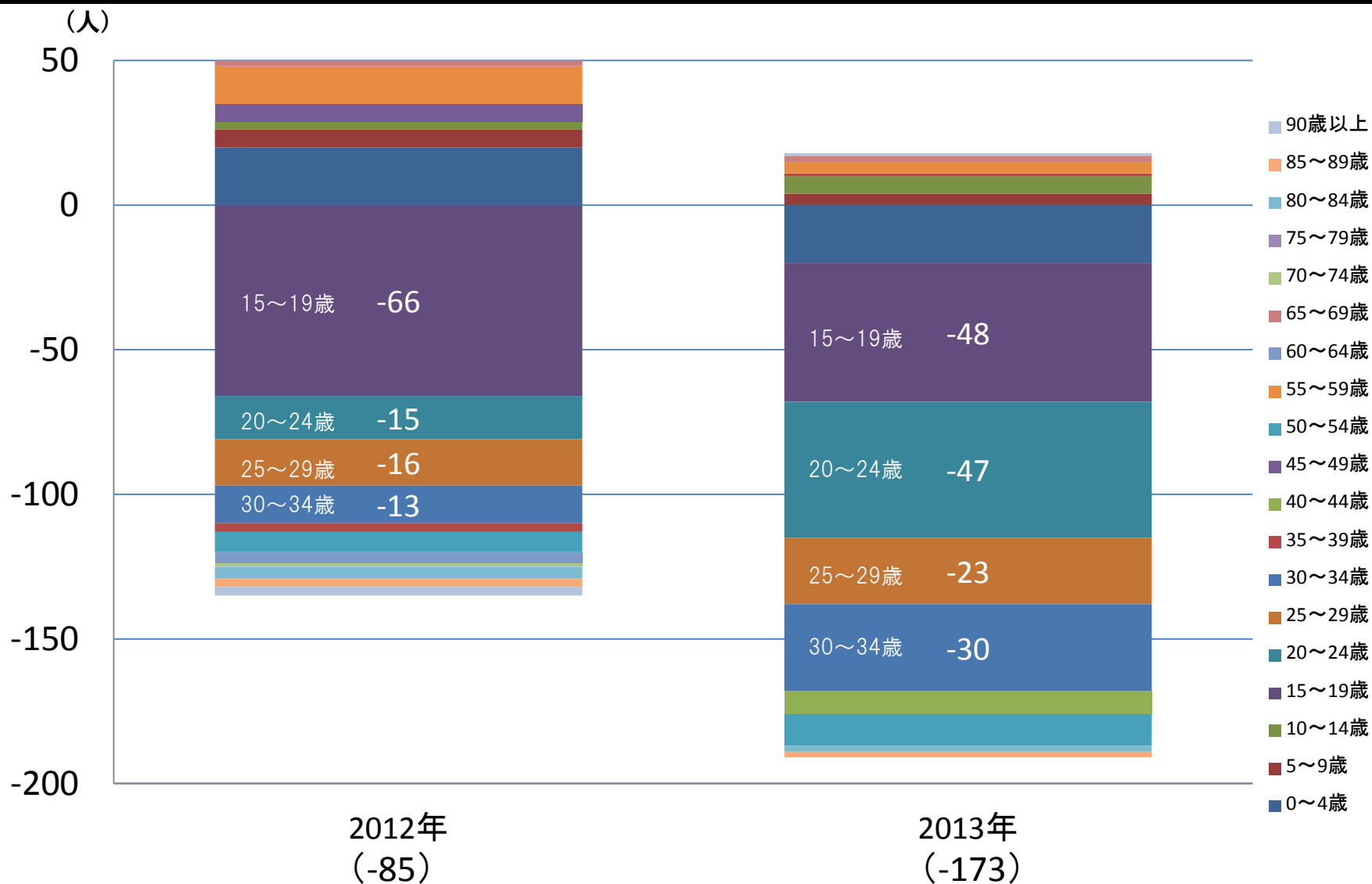


(2010年～2040年の推移)

	10万人～	3万人～10万人	1万人～3万人	5千人～1万人	合計
第1段階	1自治体 (50%)	4自治体 (66%)	2自治体 (29%)	2自治体 (40%)	9自治体 (45%)
第2段階	1自治体 (50%)	1(17%) <b>鹿島市</b>	3自治体 (42%)	1自治体 (20%)	6自治体 (30%)
第3段階	0	1自治体 (17%)	2自治体 (29%)	2自治体 (40%)	5自治体 (25%)
合計	2自治体 (100%)	6自治体 (100%)	7自治体 (100%)	5自治体 (100%)	20自治体 (100%)

(出典) 「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)を基に佐賀県作成

# 年齢階級別の人口移動の状況

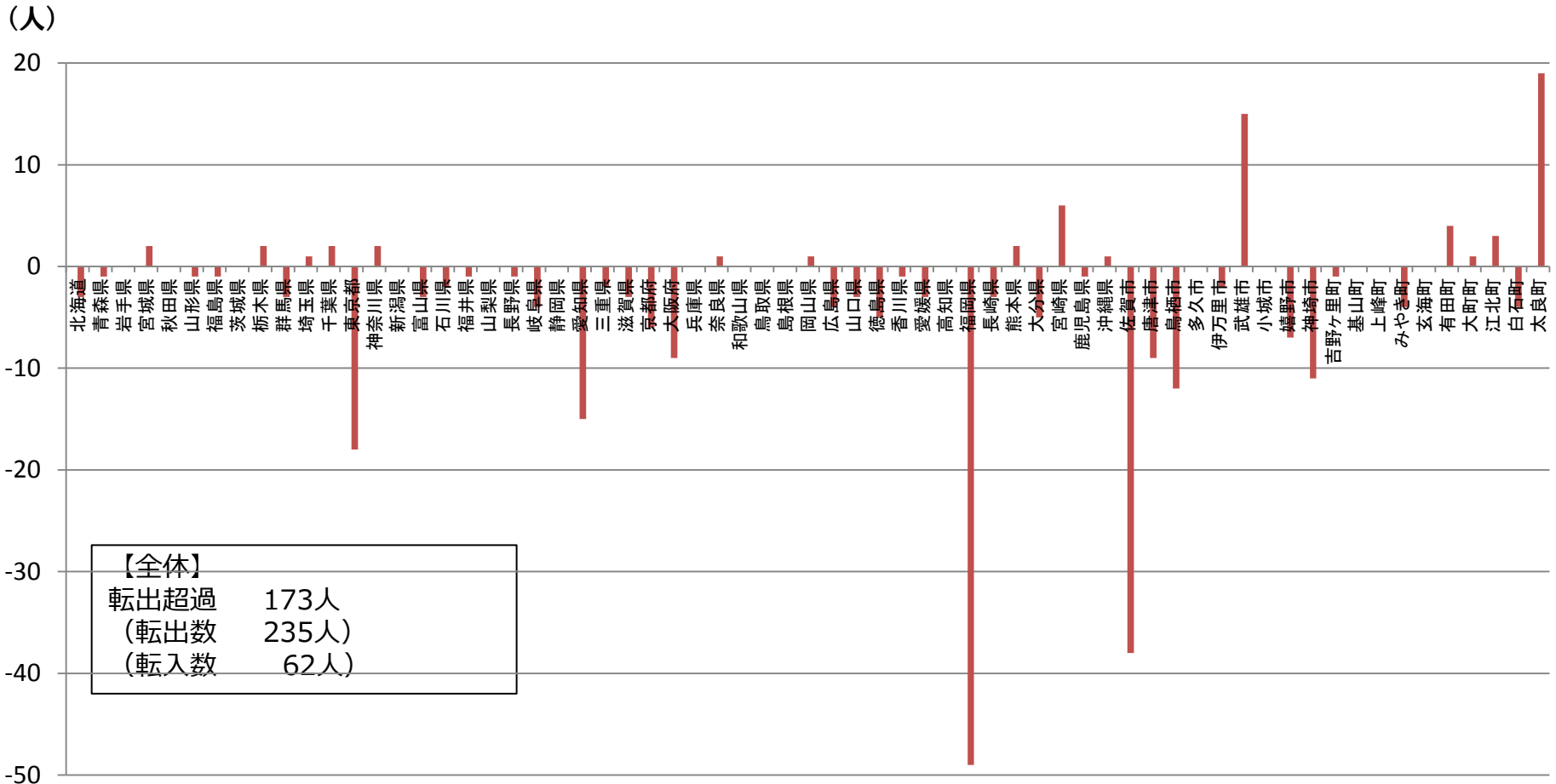


(出典) 「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)を基に鹿島市作成

# 1-(1)-(vi)補足 都道府県・県内市町別の人口移動の状況

Excelデータ埋め込み

- 転出超過** ①福岡県 (49人) ②佐賀市 (38人) ③東京都 (18人)  
**転入超過** ①太良町 (19人) ②武雄市 (15人) ③宮崎県 (6人)



(出典) 「住民基本台帳人口移動報告 (2013年)」 (総務省統計局) を基に鹿島市作成





**鹿島市まち・ひと・しごと創生**

**総合戦略イメージ**

# 鹿島市の現状からみる課題の把握



## 鹿島市の課題

### (1) 若年齢層の転出超過

大学進学や卒業後の近郊都市圏への就職による15歳～34歳の転出割合が高い。

### (2) 少子化の進行

出生率低下・出生数の減少、未婚化・晩婚化・晩産化の進行

### (3) 地域産業・地域経済の停滞

基幹産業である一次産業の停滞、人口の減少や郊外大型店による商店街の衰退  
地域経済の低迷による中小企業の倒産等の増加



「しごと・ものづくり」・「ひとづくり」・「まちづくり」の好循環を目指す。

しごと・ものづくり で「若者の流出に歯止めをかける」

ひとづくり で「若い世代が安心して働き、子育てができる環境を作る」

まちづくり で「鹿島の魅力を活かしたまちづくり」を実現する。



## 国が示した政策5原則を踏まえて施策の展開を図る。

- (1)自立性 各施策、構造的な問題に対処し、地方公共団体等の自立につながるようにする。
- (2)将来性 地方が自主的かつ主体的に、前向きに取り組むことを支援する施策に重点を置く。
- (3)地域性 各地域の実態に合った施策を支援することとし、各地域は客観的データに基づき実状分析や将来予測を行い、「地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するとともに、同戦略に沿った施策を実施できる枠組みを整備する。
- (4)直接性 限られた財源や時間の中で、最大限の成果を上げるため、施策を集中的に実施する。住民代表・産官学金労言の連携を促すことにより、政策の効果をより高める工夫を行う。
- (5)結果重視 明確なPDCAメカニズムの下に、短期・中期の具体的な数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証し、必要な改善等を行う。

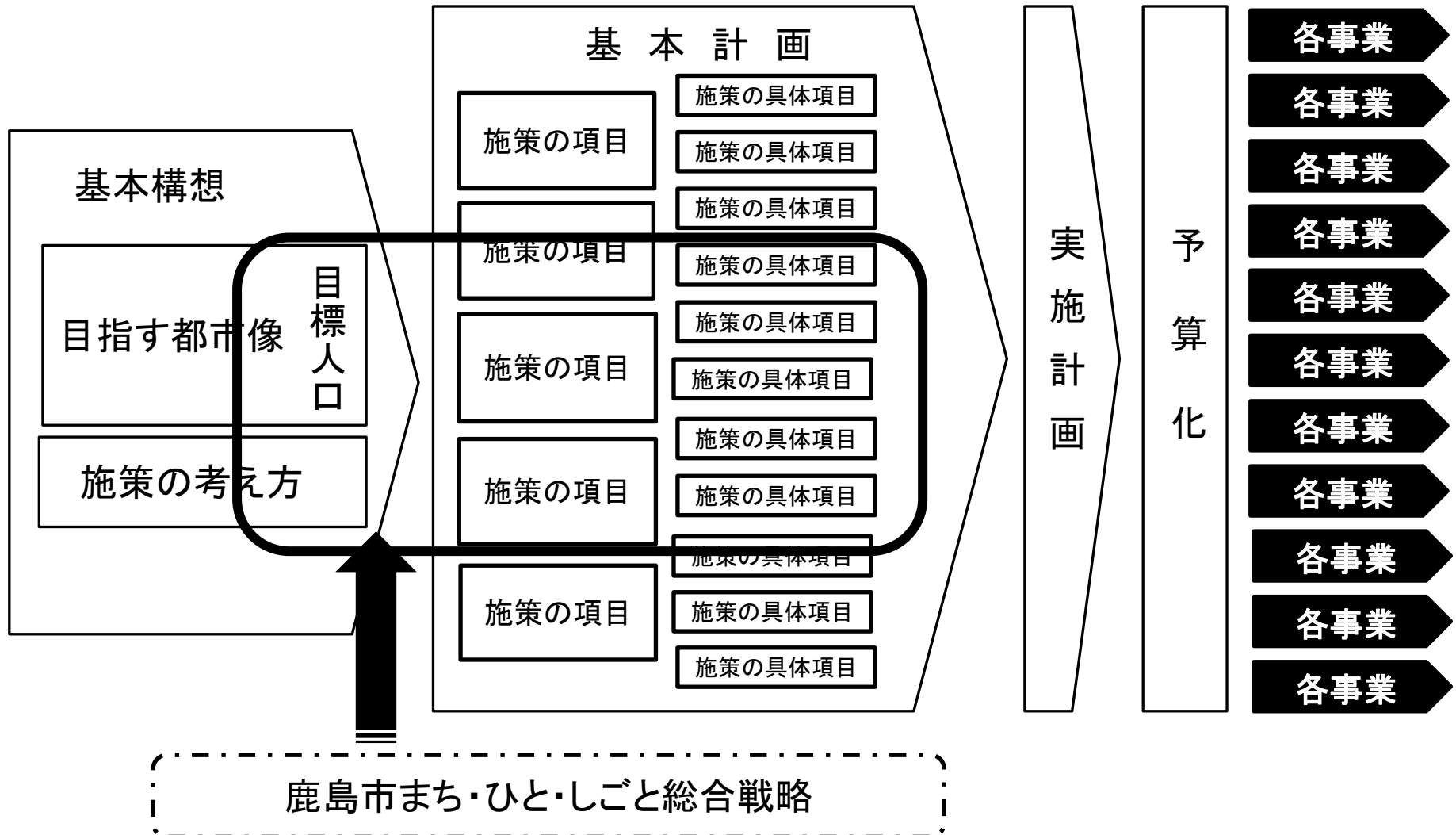
## 鹿島市独自の視点も加えて施策の展開を図る。

- (1)みんなですすめるまちづくり  
行政と市民が一体となって、まちづくりを進めていくために情報の共有化を図り、誰もがまちづくりに参加できるシステム作りを目指す。
- (2) 鹿島市独自のまちづくり  
鹿島市の特性を踏まえ、地域資源を活用した鹿島ならではのまちづくりを進める。
- (3)人口減少に対応したコンパクトなまちづくり  
公共施設の再整備・再配置によるコンパクトなまちづくりを進める。

# 第六次総合計画と総合戦略のイメージ



## 第六次鹿島市総合計画



# 鹿島市における地方創生の施策の方向性



## 第六次鹿島市総合計画



### 基本目標

**①鹿島の「ものづくり」をさらに磨きあげて鹿島ならではのしごとを生み出す。**

(国の政策分野)

地方における安定した雇用を創出する。

**②定住促進と交流人口の拡大**

(国の政策分野)

地方への新しい人の流れをつくる。

**③若者の定住を促し、安心して結婚・出産・子育てができる環境づくりの推進**

(国の政策分野)

若い世代の結婚・出産・子育ての希望意をかなえる。

**④安全・安心の確かな暮らしを営むずっと住み続けたいまちの実現**

(国の政策分野)

時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する。

### 主な施策の基本的方向性

第一次産業の再生と高度化

地場産業の育成支援

新たな産業の創出と支援

UIJターンの促進

伝統的な街並みや景観を生かした地域振興の推進

市内回遊と鹿島流おもてなしの充実

鹿島酒蔵ツーリズムの推進

道の駅鹿島を中心とした小さな拠点づくりの充実

子育て支援に関する地域資源の活用とマンパワーの育成

子育て支援センター(市民交流プラザ)での子育て支援の充実

行政と住民が一体となった防災・減災体制の強化

ラムサール条約に基づく海域環境の保全と地域活性化

国の総合戦略の基本目標である政策四分野

「しごと・ものづくり」「ひとづくり」「まちづくり」の好循環

鹿島市の課題を解決し、人口減少に歯止めをかけるために

# 総合戦略の策定体制

